

学校経営推進費 評価報告書（2年目）

標記について、下記のとおり提出します。

1. 事業計画の概要

実施課程名	全日制の課程
取り組む課題	生徒の希望する進路の実現
評価指標	①希望進学実現率 ②国公立大・難関私立大学進学者数の増加 ③英語検定2級以上の合格者数
計画名	「学習する空間づくり」計画

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	<p>1 確かな学力の育成</p> <p>(1) 授業重視で、「充実した授業、役立つ授業」をめざす。生徒の授業アンケート、職員間の公開授業や研究授業や授業づくりや授業の構造化をめざす校内研修を実施し、個々の教員の授業力改善を期し、「授業の佐野高」をめざす。 ※生徒アンケートでは、授業に工夫を感じるという回答が66%と高くない。平成28年度には80%を目標とする。</p> <p>(2) 生徒にはクラブ活動・生徒会活動等を強く奨励する一方、学校での学習を強め、家庭学習の習慣が身につくように環境を整えていく。 ※教科、学年、進路が連携し、家庭学習時間確保等の具体的プログラムを作成する。</p> <p>(3) CS等を通じ、早い段階からキャリア教育を行う。</p> <p>(4) 国際教養科の独自化をめざし、活用できる実践的な英語教育と国際理解教育を一層推進する。 ※積極的交流、資格試験合格率アップをめざす。 ※1・2年生英語検定全員受験の2年目、昨年以上の全員受験の効果が出るように、フォローアップ体制も強化して実施する。</p> <p>3 シーズンシップ教育を推進し、地域の生徒の希望をかなえる学校づくり</p> <p>(1) 日々の学校生活が楽しく充実したものであり、キャリア教育も十分に行い将来が展望できる、満足度の高い学校生活を送れるようにする。 ※学校生活に対する満足度は従来から高く、これは維持していく。 ※進路結果に対する満足度を調査していく。（3年時当初の進路第1希望の達成度を調査）</p>
事業目標	<p>生徒の学習意欲や進路意識を喚起し、自学自習に向かう力を養うため、ICTや教育産業を活用したより理解しやすい授業づくりや自習環境を整え、学力向上のため以下の取り組みを行う。</p> <p>①無線LAN環境とタブレット端末を常備した自習室（現自習席40席）を設置し、「受験サブリ」（リクルート）を導入し部活の中心となる2年次から進路実現への学習支援を行う。</p> <p>②特別教室や収容人数の多い教室（9教室）への固定式短焦点プロジェクターを導入することを核として、2020年に予想される高大接続の発展的内容（教科横断的な内容）にも対応でき、映像機器の準備時間短縮により説明や個別指導時間が担保された、質の高い授業と講習を積極的に行う。</p> <p>③英語検定2級合格が難関私学の英語力と重なるため、英語教育の充実の観点だけでなく、進路実現の観点からも英検2級合格を大幅に増やす。更に上級の實力を持つ生徒には国際標準の英語力を身につけられるように支援する。 これらの取組みを通じて、「平成27年度 府立学校への指示事項」重点1「高校の教育力の向上」（グローバル人材の育成・授業の質の向上・確かな学力の育成）及び重点6「学校の組織力向上と開かれた学校づくり」（保護者・地域ニーズの学校運営への反映・学校におけるICT活用の推進）に示された教育目標を実現する。</p>
整備した 設備・物品	<p>短焦点型電子黒板機能プロジェクター・プロジェクター収納庫・プロジェクター台・AppleTV HDMIケーブルのセット(23セット) iPad(設定費込)(20台) 無線LANアクセスポイント(取り付け費込)(1台) 大型ホワイトボード設備工事(1か所) 英語検定対策特別講座事業(90分=1講座)(15コマ)</p>
取組みの 主担・実施者	<p>「学習する空間づくり」プロジェクトチーム 教頭・学習進路指導部担当首席・進路指導課長・情報システム室長・進路指導課・英語科教諭2名</p>
本年度の 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導委員会によるICT活用の使用計画の調整と進路指導課と教務国際課による年間計画調整(4月) ・モデル実践授業・講習の実施(5月～)、公開授業での実践発表と研究協議(6月・11月) ・生徒授業アンケートの分析と情報共有(8月と1月)、学校教育自己診断アンケートの分析と情報共有(1月) ・センター試験と英検結果の分析と情報共有(2月) ・英語検定準2級・2級全員受験(1・2年生)
成果の検証方法 と評価指標	<p>①大学入試センター試験受験率40% ②4年制大学 希望進路達成率(第2志望も含めて)80% ③英検2級取得者(卒業時まで)に学年40人</p>
自己評価	<p>※(記号説明)大きく上回った(◎)、上回った(O)、達成できず(△)、実施できず(×)</p> <p>①大学入試センター試験受験率 352名中 93名で 26.4% (△) (評価指標に届かなかった) ②4年制大学 希望進路達成率(第2志望も含めて) カテゴリー別で3月末の途中集計では、274名中205名で約75% (△) (評価指標に届かなかった) ③今年度英検2級取得者…1年生8名 2年生58名 3年生27名 今年度英検準一級合格者…1年生1名 2年生0名 3年生3名。今年度1級合格者3年1名となり(◎) (評価指標を大幅に上回った)</p>
次年度に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトチームの分担調整(5月) ・学習指導委員会によるICT活用の使用計画の調整(7月) ・進路指導課と教務国際課による使用調査実施(7月・12月) ・実践授業・講習の実施(5月～)、公開授業での実践発表と研究協議(6月・11月) ・生徒授業アンケートの分析と情報共有(8月と1月)、学校教育自己診断アンケートの分析と情報共有(1月) ・センター試験と英検結果の分析と情報共有(2月) ・英語検定準2級・2級全員受験(1・2年生)